

西阿知だより

平成28年3月 第11号

発行
西阿知学区地域活動促進協議会
西阿知地区社会福祉協議会
発行責任者 難波正一

敬老の集いに二百人

歌や踊りを満喫

二十七年年度の敬老会はシルバーウィークと重なり、毎年敬老の日に行われていたものを一週間後の九月二十七日に、いつも通り小学校の体育館をお借りして行われました。

お年寄り約二百名、それに来賓、出演者、スタッフ等、多くの方々が盛大に開催されました。

第一中学校のレベルの高い吹奏楽と、マーチング、続いて保育園児の可愛らしい歌、小学生のダンスと歌、女性による本格的なコーラス、日本舞踊、そして子供神楽等の出し物を楽しんで頂きました。

今年、すみれ会結成二十五周年という事で、すみれ会の一年間の活動をその場で紹介させて頂きました。この活動報告により、



すみれ会を少しでも理解していたければ幸いです。

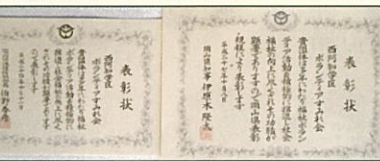
私たちは活動の先に、皆様の笑顔を思い浮かべながらこれからも

色々な行事をさせて頂きます。応援とご協力、そしてよきアドバイザーを頂ければ有り難いと思います。

(すみれ会 安東 豊美)

岡山県知事表彰を

頂きました



結成二十五周年目の今期十月八日に岡山県総合福祉大会において、岡山県知事表彰を頂きました。三年前の当大会でも、岡山県保健福祉部長表彰を受けました。どちらも長年のボランティア活動を認めて頂いたものと思います。

二十五年前に愛育委員をされたOB達で「愛育委員をして、知り合いとでも良い仲間ができ、このまま解散するのは…? 何か出来ないかな」と結成された会です。初めは七、八名からの出発で、現在の会員は四十七名です。

結成後も、なかなか活動を理解してもらえず、何をしているのかなと好奇心な目で見られたとか。少しずつ学区の方にも理解して頂けるようになり、地区社会福祉協議会の一員として色々なボランティアをさせて頂いております。

一同は「楽しくなければボランティアではない」を合言葉に、出来る時に出来る事をする、無理のない活動をしています。是非皆様も参加しませんか。

(すみれ会 安東 豊美)

西阿知学区子ども会



西阿知学区には、阿知松・片島・西阿知東・やまびこの四つの子ども会があります。

子ども達はこうした活動を通じて、育成者や地域の皆様に支えられながら、健やかに成長し、自分に自信を持ち、学校生活の中でもクラスを盛り上げる頼もしい存在になっています。

しかし、ここ数年は子ども会員が減少し、今後の活動が困難になってきている子ども会も出てきました。子ども会は大変だと言うイメージもあるかも知れませんが、卒業する時は子どもも親も、子ども会に入って良かったと言います。

旅行、秋祭り、クリスマス会など沢山のイベントを親も一緒になって学校や家庭では得る事の出来ない様々な経験をしています。

四つの子ども会が一つのチームを作り出場する「六年生大会」ではそれぞれ優秀な成績を収めており、とても誇らしく思っています。

また、「三世代ふれあいスポーツ大会」では、地域の老人会と子ども世代、親世代が一つのチームを作って、ペタンク、グラウンドゴルフ

フ、ペットボトルボーリングをします。

子ども達はこうした活動を通じて、育成者や地域の皆様に支えられながら、健やかに成長し、自分に自信を持ち、学校生活の中でもクラスを盛り上げる頼もしい存在になっています。

しかし、ここ数年は子ども会員が減少し、今後の活動が困難になってきている子ども会も出てきました。子ども会は大変だと言うイメージもあるかも知れませんが、卒業する時は子どもも親も、子ども会に入って良かったと言います。



(子ども会 学区長 浅野明宏)

これから子ども達が地域の方々と関わりを持ち成長することを願い、皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

地域の防犯は任せて

日頃の安全推進員による、パトロール活動に多大なご理解とご協力に感謝申し上げます。

学区内には青パトが現在十五台あり、この内七台に拡声器を搭載し、最低二人体制で全域をパトロールしています。不審者等の異常を見かけた場合は、是非お知らせください。

朝の登校時にはPTAの方々が危険箇所立って誘導を行っています。下校時にはPTAの方は少なく、防犯員をはじめ、地域のボランティアの方で見守っています。

「特に西阿知中銀前の交差点は車が多く道路も広く非常に危険と思っている、何とかならないか」との声があり、検討の結果、暫くは防犯員で誘導して安全を確保しようとして昨年九月より実施中です。PTAは子どもを送り出した後は学校任せ、万一の事故の時は防犯は何をしているのかの声が出るのではと心配しています。

また、子ども達は信号が変わると競争で飛び出していきます。外

へ出ると何をするか分からないのが現実です。

学校やご家庭での十分な注意や指導をお願いします。

防犯では不審者注意等の看板の取替、手直し等細かい活動も続いています。今後ともご協力の程よろしくお願いいたします。

(防犯連合会会長 狩野 英二)



グラウンドG交歓大会

親睦を強め、健康増進

西阿知学区居住のグラウンドゴルフ愛好者が、五月十四日に高梁川河川敷の西原グラウンドに於いて大会を開催しました。

愛好者相互の親睦を深め、以って心身の健康増進と技術の向上を指向し、毎年一回大会を実施しており、今年で十四回を迎えました。この間にメンバーもかなり入れ替わりましたが、この大会に参加して言えることは、生誕地とはいえ、この様な大会に参加しないで、地元住民との親睦が図れただろうか？参加しているからこそ、老若男女を問わず、互いに親睦を図れたと思います。

またゲーム中は全員が同じ目標（ホールインワン）に向かって、真剣そのもの、そこでホールインワンが入れば「おめでとう」「ありがとう」と無意識に声を掛け、互いに心のふれあいが出来る時だと思います。

生涯スポーツとしてのグラウンド



(西倉敷地区会長 水船 浩司)

ゴルフは日本全国人気最高の老人向けスポーツであり、個人プレー、屋外で適度の運動量、目的が同一の為、無意識のうちに親睦が図られます。一つでも多くの大会に参加して、より広く親交を深めたいです。

環境衛生視察研修

アサヒビールの取り組み



近年各企業は環境問題に力を入れ取り組んでいます。

今年のアサヒビール四国工場の環境対策を視察してきました。

低炭素社会構築に向けた取り組みに、グリーン電力（風力発電・太陽光発電・バイオマス発電）を活用した「アサヒスーパードライ 缶三五〇ml」の全数量を製造、販

売しているそうです。

また、省エネルギー設備の導入（排水中のメタンガスを有効利用できる嫌気性排水処理設備等）により、燃料（ガス）の燃焼で発電を行うと同時に、燃焼排ガスを利用して蒸気をつくることで、エネルギーを有効活用しています。

資源の循環利用として、麦芽は飼料などに、汚泥・スクリーンかすは有機肥料・たい肥などに、余剰酵母は医薬部外品・酵母エキスなどの健康食品などと、捨てるものはないのではと、思えるほど循環社会構築に向けた取り組みに力を入れている様子を視察してきました。

(環境衛生支部長 難波 正一)



新田三世代交流会

幼児親子と高齢者とがふれあい



新田公民館では就園前の幼児とその親御さん、そして地域のおじいさん、おばあさん（幼児から見ると）の三世代でふれあい交流会を開催し親睦を深めています。

季節ごとに催しの内容を協議し、皆が楽しめるように工夫してやっています。

春には近くの公園に弁当を持って行き、だるまさんがころんだなど、昔の遊びをみんな参加で行い、特に高齢者の方は懐かしい昔を思い出したと思います。

秋にはミニ運動会を公民館内で行い盛り上がりました。

十二月のクリスマス会には近所の学習塾の方々による飾り付けで盛大なイベントが行われました。三月には場所を変え、大橋ふれあい公園で、ミニ運動会、焼き芋大会を予定しています。

この会は学区のどなたでも自由に参加できますので、いつでもおいでください。

（新田公民館長 難波 正二）



西原地区文化祭開催

すみれ会交流会と合同で

平成二十七年三月一日、西阿知いこいの家にて、西原公民館・和老会の西原地区文化祭と、すみれ会地域ふれあい交流会を合同で開催しました。

九回目の開催になるのですが、開催日が三月なので新聞の発行に間に合わず、この度一年遅れの掲載となりました。

すみれ会による、合唱・舞踊・脳トレ・軽いストレッチ等の多彩な催し物や、大好評の無料うどんコーナー、そして公民館、和老会による趣味のコーナーでは、彫刻・盆栽・パッチワーク・絵画・写真・習字・硬筆・生け花等の展示、発表会がありました。

これからも益々充実した内容にしていきたいと思っています。役員さんには大変お世話になりました。充実した一日でした。

（西原公民館長 岡野 伸英）



片島地区サロン



片島地区にサロンが出来て五年になります。年々参加者も増え、現在は六十八歳〜八十八歳までの約二十人が月に二回の開催に参加しています。

最初は、おしゃべり中心でしたが、今は色紙、広告紙、毛糸、布等の手近にある材料で、ぬいぐるみ、箱等を作っています。手先を使う事で、「脳トレ」にもなり、認知症の予防にもなるね」と言いながら楽しんでいきます。出来た物を、すみれ会や地域の交流会などに来られ

た人にプレゼントとして渡し、喜んでいただけることに生きがいを感じています。

時に、談話会ではおしゃべりで、大いに笑い、軽い体操をし、ビンゴゲーム等をして楽しんでいます。

年間行事として、近所の公園で花見、集会所での新年会、外での食事会等実施。

サロンがあるから集うことができ、元気で生き生きとして、友達の輪がひろがっています。

皆様のご参加をお待ちしています。

(上沖ひまわり会 田中 民子)



すみれ会友愛訪問

ちらし寿司を三五〇人超の高齢者宅に



西阿知学区で七十歳以上のお一人暮らしの方、または、八十歳以上の御夫婦お二人でお暮らしの方へ、すみれ会の会員が民生委員、愛育委員の協力を得て、毎年ちらし寿司を作ってお届けしています。今年一月三十一日(日)に約三百五十人にお届けしました。一

週間〜十日位前に、当日在宅されているかを、安否確認を兼ねて、手作りの絵手紙を持って伺いました。

当日は、会員一同力を合わせてちらし寿司に、鮎、バナナ、みかんを添えてお持ちさせていただきました。

箸袋、絵手紙なども前もって集まり、手作りで用意しております。寿司は材料の購入、段取りをし、前日昼から下準備、当日は朝からすみれ会の会員力を合わせ、衛生面でも気をつけ、皆様に少しでも喜んで頂けるよう、心を込めて作らせて頂いています。



急げ自主防災組織



現在学区内において自主防災組織が設立される稼働している地区は、南連合町内会・新田公民館及び、西阿知地区の一部町内会位だと把握しております。

西原地区においても防災講演会を催したにも関わらず未だに防災組織としては設立に至っていないのが現状です。

西阿知地区が百年ほど前（明治時代）に大水害に襲われ、約3mほど水没して以来大きな災害に遭遇していないので、防災意識が後世に伝えられていないと思います。

この地域も決して



（地区社協会長 岡野 伸英）

安全とは言い切れません。その時に、いかにして被害を最小限に食い止められるか、また、災害が大きければ大きいほど行政や消防の力だけでは足りません。隣近所の助け合いが必ず必要です。そのため自主防災組織であり、連絡網です。

組織を立ち上げても、すぐには十分に機能しないと思います。何度かの防災訓練・連絡網の周知徹底を図らなければなりません。

最小限の被害で済むように皆様で頑張りましょう。

神楽や出店でにぎわう 新田ふれあい夏祭り



出店も地元の方々や連島北子ども会、西阿知子ども会、すみれ会等、十五種類以上でどの店も大変にぎわっていました。

大人から子どもまで、地域の方々がふれあう事で顔見知りになり、少しでも防犯の助けになればとの思いで始めたお祭りです。年々、大きくなっています。

是非次のお祭りには皆様お誘い合わせの上お越しください。役員、関係者の方々には大変お世話になり感謝しています。

（祭り実行委員 難波 正一）

第十一回新田ふれあい夏祭りが大橋ふれあい公園で七月の最後の土曜日（毎年同日）に盛大に開催されました。

西阿知学区以外の、連島北、中島地区の方々も多く来場していただいています。

午後四時オープン、五時からビンゴゲーム、フラダンス、バルーンアート、備中開山太鼓、備中神楽の催し物でにぎわい、神楽の最後は福の種がばら撒かれました。



栄養長寿教室開催

岡山学院大学の協力で各種測定

倉敷地区老人クラブ連合会主催の地域訪問栄養長寿教室の第三回（年二回）が七月に岡山学院大学の先生や生徒の皆様へ新田公民館に来て頂き、学区の老人クラブ員三十五名の身体の体成分測定（体脂肪や筋肉量）をはじめ、加速度脈波計（血管年齢を測る）・骨密度計・食育サット（高齢者の食事診断）栄養指導等を行って頂きました。

各測定コーナーでは、測定結果や日頃気になっている事を学生さんに質問したり、クラブ員同士がそれぞれの結果を見せ合い「この部分が心配」「もう少し悪い結果が出ると思っていたが安心した」など、わきあいあいでした。

クラブ員に感想を聞くと「参加してよかった」「何年か先でもまた開いてくれたらなあ」と喜んでいる声を聞きホッとしました。

最初は引き受けたのは良いが、会場は？会員の協力は？と不安が

いっぱいでしたが、終わって見れば会員の「よかったね」と、明るい笑顔、「大変でしたね」の労いの言葉が今までの苦勞をふっ飛ばし、本当に良かったと言う満足感と、健康づくり支援の大切さを感じた一日での健康づくりに取り組んで行きたいと思います。

（学区老人会会長 安田 泰治）



楽々講座の紹介

片島公民館でのびのび体操

片島地区では毎週火曜日に片島公民館で「のびのび体操」を開催しています。歳を重ねるたびに体力・気力・記憶力などの衰えを感じられておられる方も多いと思いますが、どなたでも簡単に出来る「のびのび体操」に参加してみませんか。

通常はラジオ体操の後、写真付きプリントとテープでの体操です。

時々、高齢者西支援センター、社会福祉センターやヨガの専門の先生方を招き、楽しいトークを交え、年齢に合った体操を指導して頂きます。

転ばないための体操などを楽しみ、笑いのある時間を過ごす事ができます。

家に閉じこもりがちになります。が、出かければ地域の方々とのコミュニケーションもあり、笑顔も多くなり楽しいひと時を味わうことが出来ると思います。

また、体操の後は皆さんのパワーも頂きとても良い気持ちになります。

（中原 常子）



歳を重ねるたびに
体力・

気力・記憶力などの衰えを感じられておられる方も多いと思いますが、どなたでも簡単に出来る「のびのび体操」に参加してみませんか。

通常はラジオ体操の後、写真付きプリントとテープでの体操です。

時々、高齢者西支援センター、社会福祉センターやヨガの専門の先生方を招き、楽しいトークを交え、年齢に合った体操を指導して



就園前の幼児と保護者で親子交流クラブ



さくらんぼクラブは山陽本線より南に居住している、就園前の乳幼児と保護者を対象にしたクラブで、季節ごとにいろいろなイベントを行い、親子で交流を深めています。

酒津公園へ行った時は、玉入れなどをして親子で沢山いい汗をかきました。夏には西阿知幼稚園に遊びに行かせてもらい、水遊びをして大はしゃぎでした。一番楽しかったと声が多かったの



はサンドイッチ作りでした。卵の殻をむいてマヨネーズと混ぜ、ハムと

きゅうりも挟んでミックスサンドを作りました。家ではあまり食べないというお子さんも、この日はたくさん食べたと言う声も聞きました。

さまざまな体験を友達と一緒にする事で子ども達も大きく成長することが出来ます。

(斎藤 友紀)



ペンギンクラブは山陽本線より北にお住いの幼児と保護者の方で活動しています。

毎月一〜二回、主に西原公民館に集まり、誕生会、季節のイベント、戸外遊び、出前講座、茶話会などを行っています。

今期の夏祭りでは、手作りのなげなわ、魚釣りなどで楽しみました。また、ハロウィンパーティやク

リスマス会では、親子でそれにちなんだ工作をしたり、お菓子やプレゼントをもらったりしました。

出前講座は、年に四〜五回計画しており、読み聞かせ、体操、人形劇などの先生に来ていただいている。

年間を通して、親子で楽しめる活動がいっぱいです。

(森脇 佐織)



さくらんぼクラブ、ペンギンクラブとも、随時会員を募集していますのでお気軽にお問い合わせください。

■問い合わせ先

倉敷市保健推進室

電話 086-434-9822

編集後記

平素より皆様には地域の活動にご理解と、ご協力を頂きありがとうございます。

お陰様で二十七年度号の広報紙を発行する事ができました。今年度は、紙面の構成を少し変えて、よりコンパクトに、そしてより多くの地域活動の様子を紙面を通して理解して頂き、そして活動に参加して楽しんで頂ければ、というスタッフの気持ちを基に編集致しました。これからも皆様の温かいご意見、ご協力を頂きながら、喜んで頂ける紙面にしていきたいと思っています。

投稿頂きました皆様には厚く御礼申し上げます。

地域活動促進協議会
地区社会福祉協議会

会長 岡野 伸英

事務局スタッフ

難波 正一

